

**玉ねぎ** (ソニック・さつき)

情報提供：神奈川県小田原市在住 K様 (42150) 2007年5月28日

例年より180%増収し、1個当たりの比重が高く、食味が非常に良いです。  
また、連作障害による病害虫に強いと感じました。

**特長**

- 苗は例年より勢いが良く、根の部分がフサフサで長いです。
- 葉の色が濃く、大きく育ちました。
- 甘味を強く感じ、食味が非常に良いです。
- 発酵肥料とスーパーERの併用で地力が高まり、土が柔らかく病害虫に大変強くなりました。

**栽培地状況**

- 小田原市の東部に位置した玉ねぎに適した土壌でブランド地区です。
- 2006年よりスーパーERを使用しています。
- ねぎの他に水稲10アール、ミカン早生5アール、中手10アール、青島25アールを栽培しています。

**施用状況**

<2006年～> 10アール当たり

		日付	希釈倍率	施用量
種まき時期		9月20日		
土壌灌水	1回目	11月上旬～下旬		
	2回目	1月上旬～中旬		
作物への 散布	1回目	1月28日	1000倍	350ℓ  イオン化カルシウム 1000倍液混入
	2回目	2月28日		
	3回目	3月26日		
	4回目	4月20日		
収穫時期		5月上旬～6月上旬		

**生産者の声**

- 農薬に頼らない、安心・安全な作物を作るためにこれからの土壌作りが課題です。
- 露地栽培で天候に左右されやすいが、スーパーERの使用で様々な困難を乗り越える事が出来、栽培が用意になりました。
- 手探り状態で使用していましたが、素晴らしい効果を感じましたので、来年も続行してまいります。

**◆ご使用にあたってのポイント**

- ・ 今回の結果はスーパーERを使用する事により、肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まったと考えられます。その為、好結果が出た後の土壌中の肥料分は多量に消費されておりますので、来年度の土壌への施肥は充分に行う必要があります。
- ・ スーパーERの過剰使用は一時的に良い結果が現れますが、後に何らかの弊害が出る可能性もありますので、施用方法に従い使用をしてください。
- ・ スーパーERの使用で、土壌の微生物の環境が整い、微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられる場合があります。
- ・ これらの現象は、農薬等の作用とは全く異なるもので土壌環境等の調整であり、スーパーERは農薬でも特定農薬でもありません。